（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　かすみ草

作成日：令和　2 年 7 月 31 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	開設して4年目となり心身状態に変化が生じている利用者の方も見られる。これまでの介護方法について評価を行い、必要なサービスについても改めて考えていくことが必要。職員側の決まりではなく入居者が今どのように過ごしたいのかを考えることが大切だと思われる。	全利用者についてのケアプランについての再検討と必要に応じたサービスの見直しを行う。	ケアプランを一から作り直す。特に認知症進行緩和に対する取り組みや身体機能について再検討を行い、必要なサービスを改めて考える。	12ヶ月
2	16	他グループホームの活動や運営状況を把握し、参考にしていく。他事業所との交流で視野が広くなると考えるがなかなか現状は機会が少ないので、関係機関と相談しながら、交流出来るように取り組んでいく。	他グループホームへの見学やグループホーム間の交流を行い、研修会や事例発表会などを実施したい。	他グループホームへの見学をまず行い、連携できるグループホームとは研修会や事例発表会等行っていく。	12ヶ月
3	28	各ユニットへの所属は一部を除いて長期に渡っており、所属以外のユニット利用者についての情報把握が薄い場合がある。	スタッフ全員が所属ユニットだけでなくもう一方のユニットについても利用者の状態を知り、関わることができるように取り組んでいく。	定期的ユニット間でスタッフの入れ替えを行う。（4半期ごと）	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。